

土木関係工事数量算出要領

新 旧 対 照 表

令和 6 年版

(令和6年9月)

ページ	改 正	現 行
2-1-15	<p>1.2.1 安定処理工</p> <p>3. 区分 (5) 規格区分 施工面積を固化材の使用量 ($t/100m^2$ 当り)、混合回数 (スタビライザ混合) ごとに区分して算出する。</p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編 共通 第1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。 (1) 固化材の使用量 ($t/100 m^2$ 当り) はロス等を含むものとする。</p>	<p>1.2.1 安定処理工</p> <p>3. 区分 (5) 規格区分 施工面積を固化材の使用量 ($\underline{\hspace{1cm}}100m^2$ 当り)、混合回数 (スタビライザ混合) ごとに区分して算出する。</p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編 共通 第1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。 (1) 固化材の使用量 ($\underline{\hspace{1cm}}100 m^2$ 当り) はロス等を含むものとする。</p>
2-5-3	<p>5.2 鋼矢板工</p> <p>4. 数量算出方法 (2) <u>打込み長又は厚入長が変化する場合、分けて算出する。</u> 打込み長又は厚入長は1枚あたりとする。 なお、打込み長又は厚入長に対する最大N値又は各地層ごとの加重平均N値を算出しておくこと。</p>	<p>5.2 鋼矢板工</p> <p>4. 数量算出方法 (2) <u>打込み長又は厚入長を施工箇所 (ブロック) ごとに算出する。</u> なお、打込み長又は厚入長に対する最大N値又は各地層ごとの加重平均N値を算出しておくこと。</p>
2-5-9	<p>5.4 場所打杭工、深礎工</p> <p>4. 数量算出方法</p>	<p>5.4 場所打杭工、深礎工</p> <p>4. 数量算出方法</p>
	<p>(削除)</p>	<p>(2) <u>リバースサーキュレーション工</u> <u>別紙-1の数量のほか下記の項目について算出する。</u></p> <p>1) <u>コンクリート量</u> $Q = \pi / 4 \times D^2 \times L$ <u>Q : 杭1本当りのコンクリート使用量・・・(m³/本)</u> <u>D : 設計杭径・・・・・・・・・・・・(m)</u> <u>L : 設計杭長・・・・・・・・・・・・(m)</u></p>
現		
2-5-11	(3) 大口径ボーリングマシン工	(4) 大口径ボーリングマシン工
改 2-5-10		
現		
2-5-12	(4) ダウンザホールハンマ工	
改 2-5-11		(5) ダウンザホールハンマ工

ページ	改 正	現 行
現 2-5-14 改 2-5-13	(5) 深礎工	(6) 深礎工
現 2-5-15 改 2-5-14	<p>3) コンクリート及びグラウト使用数量</p> $V = \pi / 4 \times D^2 \times L_1$ <p>(省略)</p> $G = 0.10\pi (D + 0.10) L_2$ <p>G : 杭1本当りグラウト使用数量・・・・・・(m³/本) D : 杭径(公称径)(m) L₂ : 杭1本当りグラウト必要長さ・・・・(m)</p> <p>注) 1. 土留材と地山の間隙をグラウトにより間詰する場合のグラウト使用数量は、上式を標準とするが、土質等特別な条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。また、グラウトパイプは、必要量を算出する。</p>	<p>3) コンクリート及びグラウト使用数量</p> $V = \pi / 4 \times D^2 \times L_1$ <p>(省略)</p> $G = 0.10\pi (D + 0.10) L_2 \times 1.14$ <p>G : 杭1本当りグラウト使用数量・・・・・・(m³/本) D : 杭径(公称径)(m) L₂ : 杭1本当りグラウト必要長さ・・・・(m)</p> <p>注) 1. 土留材と地山の間隙をグラウトにより間詰する場合のグラウト使用数量は、上式を標準とするが、土質等特別な条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。また、グラウトパイプは、必要量を算出する。</p>
	(6) 鉄筋工	(7) 鉄筋工
	5.5 ニューマチックケーソン基礎工	5.5 ニューマチックケーソン基礎工
現 2-5-21 改 2-5-20	<p>◎足場掛面積の算出例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外側足場 (省略) ・内側足場 ケーソン外周54m、内側足場の1ロット当り高さ4m、必要ロット数7 供用日T : 212日、先行据置2段手摺の1日当り賃料M1 : 7.2円/日、先行据置2段手摺の基本料金M2 : 320円の場合 <p>内側足場は、ケーソン1基当り全内側足場掛m²の1/2に全供用日数を計上・・・・足場材賃料① 全内側足場の残り1/2掛m²に全供用日数の1/2を計上・・・・足場材賃料②</p> <p>必要ロット分外周面積=54m×(7×4m)=1,512m² 内側足場掛面積=1,512m²×0.55≒832(掛m²) 足場材賃料①=1.3×(7.2円/日×212日+320円)×832(掛m²)÷2≒998,533円 足場材賃料②=1.3×(7.2円/日×212日÷2+320円)×832(掛m²)÷2≒585,795円 足場材賃料=998,533円+585,795円=1,584,328円</p> <p><u>※上記計算は一例であり、実際の算出は作業実態に合わせて適切に算出すること。</u></p>	<p>◎足場掛面積の算出例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外側足場 (省略) ・内側足場 ケーソン外周54m、内側足場の1ロット当り高さ4m、必要ロット数7 供用日T : 212日、先行据置2段手摺の1日当り賃料M1 : 7.2円/日、先行据置2段手摺の基本料金M2 : 320円の場合 <p>内側足場は、ケーソン1基当り全内側足場掛m²の1/2に全供用日数を計上・・・・足場材賃料① 全内側足場の残り1/2掛m²に全供用日数の1/2を計上・・・・足場材賃料②</p> <p>必要ロット分外周面積=54m×(7×4m)=1,512m² 内側足場掛面積=1,512m²×0.55≒832(掛m²) 足場材賃料①=1.3×(7.2円/日×212日+320円)×832(掛m²)÷2≒998,533円 足場材賃料②=1.3×(7.2円/日×212日÷2+320円)×832(掛m²)÷2≒585,795円 足場材賃料=998,533円+585,795円=1,584,328円</p>
現 2-5-22 改 2-5-21	<ul style="list-style-type: none"> ・内側足場 (中間省略) <p>必要ロット分外周面積=54m×(2×4m)=432m² 内側足場掛面積=432m²×0.55≒238(掛m²) 足場材賃料①=1.3×(7.2円/日×93日+320円)×238(掛m²)÷2≒153,091円 足場材賃料②=1.3×(7.2円/日×93日÷2+320円)×238(掛m²)÷2≒101,298円 足場材賃料=153,091円+101,298円=254,389円</p> <p><u>※上記計算は一例であり、実際の算出は作業実態に合わせて適切に算出すること。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内側足場 (中間省略) <p>必要ロット分外周面積=54m×(2×4m)=432m² 内側足場掛面積=432m²×0.55≒238(掛m²) 足場材賃料①=1.3×(7.2円/日×93日+320円)×238(掛m²)÷2≒153,091円 足場材賃料②=1.3×(7.2円/日×93日÷2+320円)×238(掛m²)÷2≒101,298円 足場材賃料=153,091円+101,298円=254,389円</p>

ページ	改 正	現 行																																																																																																																																																																																																
2-8-11	<p>8.5 コンクリートブロック積（張）工</p> <p>3. 区分</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>⑩現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯（隔壁）コンクリート、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック （材料費）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯（隔壁）コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック （材料費）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を項目ごと算出する。 2. 現場打小口止コンクリート、現場打横帯（隔壁）コンクリートについては、体積（m³）も算出すること。 3. <u>プレキャスト小口止めブロック、プレキャスト横帯（隔壁）ブロックの単位「m」は、法長とする。</u></p>	項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート				○	m			プレキャスト小口止ブロック				×	m			プレキャスト小口止ブロック （材料費）				×	m			現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）		○	×	×	m			プレキャスト巻止ブロック				×	m			プレキャスト巻止ブロック （材料費）				×	m			裏込材				×	m ²			目地材				×	m ²			基礎碎石				×	m ²			<p>8.5 コンクリートブロック積（張）工</p> <p>3. 区分</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <p>⑩現場打小口止コンクリート、プレキャスト小口止ブロック、現場打横帯（隔壁）コンクリート、プレキャスト横帯（隔壁）ブロック、プレキャスト巻止ブロック</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>区分</th> <th>規格</th> <th>構造</th> <th>養生工の種類</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場打小口止コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト小口止ブロック （材料費）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場打横帯（隔壁）コンクリート</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>プレキャスト巻止ブロック （材料費）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>裏込材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎碎石</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 必要に応じて数量を項目ごと算出する。 2. 現場打小口止コンクリート、現場打横帯（隔壁）コンクリートについては、体積（m³）も算出すること。</p>	項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考	現場打小口止コンクリート				○	m			プレキャスト小口止ブロック				×	m			プレキャスト小口止ブロック （材料費）				×	m			現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m			プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）		○	×	×	m			プレキャスト巻止ブロック				×	m			プレキャスト巻止ブロック （材料費）				×	m			裏込材				×	m ²			目地材				×	m ²			基礎碎石				×	m ²		
項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																																																																																																											
現場打小口止コンクリート				○	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト小口止ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト小口止ブロック （材料費）				×	m																																																																																																																																																																																													
現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）		○	×	×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト巻止ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト巻止ブロック （材料費）				×	m																																																																																																																																																																																													
裏込材				×	m ²																																																																																																																																																																																													
目地材				×	m ²																																																																																																																																																																																													
基礎碎石				×	m ²																																																																																																																																																																																													
項目	区分	規格	構造	養生工の種類	単位	数量	備考																																																																																																																																																																																											
現場打小口止コンクリート				○	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト小口止ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト小口止ブロック （材料費）				×	m																																																																																																																																																																																													
現場打横帯（隔壁）コンクリート				○	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト横帯（隔壁）ブロック （材料費）		○	×	×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト巻止ブロック				×	m																																																																																																																																																																																													
プレキャスト巻止ブロック （材料費）				×	m																																																																																																																																																																																													
裏込材				×	m ²																																																																																																																																																																																													
目地材				×	m ²																																																																																																																																																																																													
基礎碎石				×	m ²																																																																																																																																																																																													

ページ	改正	現行																																																												
2-13-5	<p>13.3 舗装版切断工</p> <p>3. 区分</p> <p><u>(2) 舗装版種別区分</u></p> <p>① アスファルト舗装版</p> <p>② コンクリート舗装版</p> <p>③ コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版</p> <p><u>(3) 舗装版種類区分及び厚さ区分</u></p>	<p>13.3 舗装版切断工</p> <p>3. 区分</p> <p>(追加)</p> <p><u>(2) 舗装版種類区分及び厚さ区分</u></p>																																																												
2-13-11	<p>13.7 伐木除根工</p> <p>④運搬(伐木除根)</p> <table border="1" data-bbox="359 804 1383 953"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>積込 条件</th> <th>除根作業 の有無</th> <th>DID 区間 の有無</th> <th>運搬 距離</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運搬 (伐木除根)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m3</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤伐木・伐竹(複合)(伐木、除根、整地、集積積込みまでの一連の作業を含む)</p> <table border="1" data-bbox="359 1024 1383 1211"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>伐木・伐竹の 区分樹木密集 度</th> <th>除根作業 の有無</th> <th>集積積込み 作業の区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伐木・除根 (複合)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 樹木・竹の区分、樹木密集度による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>樹木・竹の区分、樹木密集度</p> <ul style="list-style-type: none"> — 伐木(人力施工:粗)(10本/100㎡未満) — 伐木(人力施工:中)(10本/100㎡以上50本/100㎡未満) — 伐木(人力施工:密)(50本/100㎡以上) — 伐木(機械施工) — 伐竹 	区分 項目	積込 条件	除根作業 の有無	DID 区間 の有無	運搬 距離	単位	数量	備考	運搬 (伐木除根)	○	○	○	○	m3			区分 項目	伐木・伐竹の 区分樹木密集 度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	単位	数量	備考	伐木・除根 (複合)	○	○	○	m2			<p>13.7 伐木除根工</p> <p>④運搬(伐木除根)</p> <table border="1" data-bbox="1611 804 2635 953"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>積込 条件</th> <th>除根作業 の有無</th> <th>DID 区間 の有無</th> <th>運搬 距離</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運搬 (伐木除根)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤伐木・伐竹(複合)(伐木、除根、整地、集積積込みまでの一連の作業を含む)</p> <table border="1" data-bbox="1611 1024 2635 1211"> <thead> <tr> <th>区分 項目</th> <th>伐木・伐竹の 区分樹木密集 度</th> <th>除根作業 の有無</th> <th>集積積込み 作業の区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伐木・除根 (複合)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 樹木・竹の区分、樹木密集度による区分は、以下のとおりとする。</p> <p>樹木・竹の区分、樹木密集度</p> <ul style="list-style-type: none"> — 伐木()粗(10本/100㎡未満) — 伐木()中(10本/100㎡以上50本/100㎡未満) — 伐木()密(50本/100㎡以上) — 伐木() — 伐竹 	区分 項目	積込 条件	除根作業 の有無	DID 区間 の有無	運搬 距離	単位	数量	備考	運搬 (伐木除根)	○	○	○	○	m2			区分 項目	伐木・伐竹の 区分樹木密集 度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	単位	数量	備考	伐木・除根 (複合)	○	○	○	m2		
区分 項目	積込 条件	除根作業 の有無	DID 区間 の有無	運搬 距離	単位	数量	備考																																																							
運搬 (伐木除根)	○	○	○	○	m3																																																									
区分 項目	伐木・伐竹の 区分樹木密集 度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	単位	数量	備考																																																								
伐木・除根 (複合)	○	○	○	m2																																																										
区分 項目	積込 条件	除根作業 の有無	DID 区間 の有無	運搬 距離	単位	数量	備考																																																							
運搬 (伐木除根)	○	○	○	○	m2																																																									
区分 項目	伐木・伐竹の 区分樹木密集 度	除根作業 の有無	集積積込み 作業の区分	単位	数量	備考																																																								
伐木・除根 (複合)	○	○	○	m2																																																										

ページ	改 正	現 行																																				
2-15-9	<p>15.4 アンカー工（ロータリーパーカッション式）</p> <p>1. 適用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより二重管による削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達し、長期に供用するグラウンドアンカー工法に適用する。</p> </div> <p>3. 区分</p> <p>(2) 呼び径区分</p> <p>呼び径による区分は、以下のとおりとする。呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。</p> <table border="0"> <tr><td>呼び径</td><td>φ 90mm</td></tr> <tr><td></td><td>φ 115mm</td></tr> <tr><td></td><td>φ 135mm</td></tr> <tr><td></td><td>φ 146mm</td></tr> </table> <p>(3) 土質区分</p> <p>土質区分は、以下の通りとする。</p> <table border="0"> <tr><td>土質区分</td><td>粘性土、砂質土</td></tr> <tr><td></td><td>レキ質土</td></tr> <tr><td></td><td>玉石混り土</td></tr> <tr><td></td><td>軟岩</td></tr> <tr><td></td><td>硬岩</td></tr> </table>	呼び径	φ 90mm		φ 115mm		φ 135mm		φ 146mm	土質区分	粘性土、砂質土		レキ質土		玉石混り土		軟岩		硬岩	<p>15.4 アンカー工（ロータリーパーカッション式）</p> <p>1. 適用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い引張鋼材にてアンカーを施工するものに適用する。</p> </div> <p>3. 区分</p> <p>(2) 呼び径区分</p> <p>呼び径による区分は、以下のとおりとする。呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。</p> <table border="0"> <tr><td>呼び径</td><td>φ 90mm (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>φ 115mm (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>φ 135mm (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>φ 146mm (二重管方式)</td></tr> </table> <p>(3) 土質区分</p> <p>土質区分は、以下の通りとする。</p> <table border="0"> <tr><td>土質区分</td><td>粘性土、砂質土 (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>レキ質土 (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>玉石混り土 (単管方式・二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>軟岩 (二重管方式)</td></tr> <tr><td></td><td>硬岩 (二重管方式)</td></tr> </table>	呼び径	φ 90mm (単管方式・二重管方式)		φ 115mm (単管方式・二重管方式)		φ 135mm (単管方式・二重管方式)		φ 146mm (二重管方式)	土質区分	粘性土、砂質土 (単管方式・二重管方式)		レキ質土 (単管方式・二重管方式)		玉石混り土 (単管方式・二重管方式)		軟岩 (二重管方式)		硬岩 (二重管方式)
呼び径	φ 90mm																																					
	φ 115mm																																					
	φ 135mm																																					
	φ 146mm																																					
土質区分	粘性土、砂質土																																					
	レキ質土																																					
	玉石混り土																																					
	軟岩																																					
	硬岩																																					
呼び径	φ 90mm (単管方式・二重管方式)																																					
	φ 115mm (単管方式・二重管方式)																																					
	φ 135mm (単管方式・二重管方式)																																					
	φ 146mm (二重管方式)																																					
土質区分	粘性土、砂質土 (単管方式・二重管方式)																																					
	レキ質土 (単管方式・二重管方式)																																					
	玉石混り土 (単管方式・二重管方式)																																					
	軟岩 (二重管方式)																																					
	硬岩 (二重管方式)																																					
2-5-10	<p>(削除)</p>	<p>(4) 方式</p> <p>方式は、以下のとおりとする。</p> <table border="0"> <tr><td>方式</td><td>単管</td></tr> <tr><td></td><td>二重管</td></tr> </table> <p>注) 土砂を貫通して岩部分にアンカーを定着する場合は、二重管削孔を標準とする。</p>	方式	単管		二重管																																
方式	単管																																					
	二重管																																					